

THE SET WEST OF THE SET OF THE SE



富士章受章スカウト 10 名と県連役員が県知事を表敬訪問

CONTENTS -

富士章受章スカウト県知事表敬訪問2	おめでとう12名の友情章
富士章受章スカウトのことば3	
特集!スカウトファミリー 4	海外派遣・国際交流スカウト報告会が開催 12
志太地区 台湾との国際交流 6	障がい児スカウト研修会を開催・・・・・・・13
いつも元気だっ!ビーバーだより7	県連賛助会員の皆様
カブつうしん 7	ご支援ありがとうございました
ボーイ通信 8	マスコミコーナー ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
· 	おしらせコーナー
指導者だより 9	・各研修及び定時総会のご案内
指導者がシンガポールを訪問10	

平成28年度 富士章受章スカウト県知事表敬訪問 3月28日(火) 静岡県庁特別会議室にて







平成28年度の富士章受章スカウトの県知事表 敬訪問が、3月28日午前9時より静岡県庁内の 特別会議室で行われました。受章スカウト10名と、 前澤理事長・県連役員が出席致しました。

前澤理事長の挨拶、受章スカウトの自己紹介の 後、川勝平太知事から「富士山のある静岡から多く の富士スカウトが出たことは素晴らしいことだ。富



士は日本の象徴であり、その名を冠した章を取った ことを誇りに思って欲しい。今後は、皆さんがリー ダーとなり後輩が憧れるような活動を続けて頂き たい。」と、お祝いと励ましのことばを頂きました。

受章スカウトを代表して鍋田真央さん(清水地区・清水第19団)が、「富士章受章はゴールではなく、新しいスタートとしての節目。両親や隊長・先輩の指導・協力のお蔭で富士章を取ることが出来た。それに感謝し、恩返しとしてこれまでの体験・経験を後輩スカウトに伝えて、この活動を世界に拡げていきたい。」と挨拶しました。

このあと、静岡県連盟の連盟長でもある川勝知 事から受章記念の盾が受章スカウト一人一人に手渡 され、出席者全員の記念写真の撮影を行いました。

平成28年度の富士章受章スカウト14名の内、3名が3月21日に行われた東宮御所参殿に、5名が3月27日に行われた首相官邸・文部科学省表敬訪問に全国の代表として参加しました。

平成 28 年度 富士章受章スカウトのことば

地	X	団	氏 名	受章者のことば
富士	宮	富士宮第5団	森 栄徳	自分が富士章を受章できたのは、隊長や親をはじめとした 方々の支えがあったからです。これからは、自分が後輩を 支え導いていきたいです。
Ξ	島	三島第5団	北村 航風	富士章を受章したことで、今までよりも他のスカウトの模 範となることが多いと思います。これからは、スカウト活 動の発展にも貢献していきたい。
Ξ	島	三島第5団	山田 紀人	今回、たくさんの方々の支えで富士章を取得することが出来ました。しかし、私の富士章はまだ1合目です。これからあの頂きに向けて再出発です。
富	±	富士第9団	宮地 飛鳥	自団の後輩スカウトや他地区のスカウトと多く交流し、自 分の持っている技能を教えたり、まだ自分の知らない知識 を増やしていきたい。
清	水	清水第19団	鍋田 真央	スカウト最高の富士章は、一人の力では決して得れた物で はないので、これからはお世話になった方々への感謝を行 動で示していきます。
浜	松	浜松第7団	永瀬 響也	多くの方々の応援を受けて富士章を取得出来たことを嬉しく 思うと同時に、理想のスカウトを目指してこれからも努力を 続けたいと思います。
浜	松	浜松第12団	藤川 剛司	富士章受章に際し、これまでのボーイスカウト活動を支援して 頂いた指導者・父母に対し感謝しています。
浜	松	浜松第12団	新屋 太基	富士章受章するまでに団関係者・両親・地域の方々の支援がありました。今後は団や地域の行事に積極的に参加していきたいと思います。
浜	松	浜松第12団	松田健志郎	自分が富士章を受章するとは思ってもいませんでしたが、 多くの方々の協力で富士章を受章することが出来ました。 これからも活動を続けていきたいと思います。
浜 松	東	浜松第24団	田辺 祐基	富士章を取得出来たのも、様々な人が支援してくれたおか げだと思います。親類・指導者の方々・友人すべての人た ちに感謝です。
沼	駿	清水町第1団	矢ノ下麻実	欠席
島	田	島田第4団	鈴木 愛実	欠席
浜	松	浜松第12団	上田 有真	欠席
浜 松	東	浜松第24団	青木 優	欠席



静岡県連盟には、親・子・孫の3世代でスカ ウト活動に参加されている「スカウト・ファミリー」 が11組おられます。

親から子へ、そして孫へとスカウティングが引 き継がれているのには、何か秘訣があるので は?スカウト運動の魅力・楽しさ・素晴らしさを伝 え、活動の輪を広げるヒントがあるのではないか と考え、アンケートを実施することと致しました。

今回は第一弾として、志太地区 藤枝第1団 の「鈴木ファミリー」にご登場頂きます。

【鈴木ファミリーのご紹介】(太文字はアンケートにお答え頂いた方)

鈴木 邦夫 様 — (団委員長)

— 鈴木 幸仁 様(長男)
— お嬢様 2名

(RS·指導者 ⇒ 現在: 育成会員) (RS·VS)

高橋 綾子様(次女) -

(BS副長)

高橋 秀之様(娘婿) (育成会長)

光 様 (VS)

直己様(RS)

【スカウト・ファミリーアンケート 第1世代】

鈴木 邦夫 様 登録開始年度

1952年(昭和27年)

現在の役務 (H29·4時点) 藤枝第1団 団委員長·志太地区協議会長

静岡県連盟名誉会議員・県連盟スカウトクラブ(長青会)会長

●ご自身がスカウト活動を続けている理由は?

・ボーイ、シニアー、ローバーそして指導者、団委員と今日に 至っているが、いつの間にか65年になった。続けている理由 を今までに特に考えたこともないが、日々スカウト・生涯スカ ウトからでしょうか。そして楽しいからでしょうか。

②スカウト運動の魅力・素晴らしいと思われる点は?

・人格、健康、知識・技能、奉仕の4本の教育の柱で青少年を 育てるスカウティング。国際的であること(世界各地に生涯 の友を得ることが出来る)、そして生涯教育であること。

❸これまで経験されてきたスカウト活動で、一番 楽しかった・嬉しかったことは?

・班集会、隊集会、キャンプ、ジャンボリー、国際会議等々楽し かった・嬉しかった経験は数え切れずあり、一つに絞ること は難しいが、その中で一番といえば、1952年10月の「ちか い」の式で隊長から胸に「初級章」を付けて頂き(当時は未 だスカウトの制服が無く、開襟シャツにネッカチーフだっ た)、隊旗を握り締め「ちかい」を立てた時。(その時から今日 まで、Scoutingと共に歩んできた)

◆お子さんがスカウト活動を続けている理由は 何だと思いますか?

自分と同じではないでしょうか。

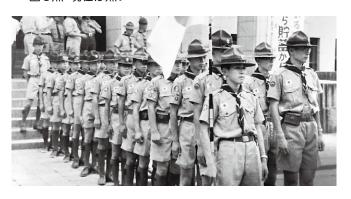
⑤お孫さんがスカウト活動を続けている理由は 何だと思いますか?

・楽しいからでしょうか。そして、両親&祖父母の背中(スカウ ティング)を見ているからでしょうか。

スカウティングを楽しむ環境の中にいるからでしょうか。

⑥三世代で一緒に活動することの良い点・困る点は?

- ・良い点:スカウティングと言う共通点があること。(スカウ ティングは、スカウト自身だけでなく、家族全員の協力・支援 の下で行なわれており、すなわち三世代家族全員がスカウ ティングを行っていること)
- ・困る点:現在は無い



【スカウト・ファミリーアンケート 第2世代】

高橋 綾子様 登録開始年度

現在の役務

2003年(平成15年)

藤枝第1団 ボーイ隊 副長

●ご自身がスカウト活動を続けている理由は?

- ・子ども時代は、ボーイスカウトに女子が入れなかったので ガールスカウトに入団。子どもがボーイスカウトに入団した ことから、スカウト活動を始めた。
- ・・・・父の影響でしょうか。自然にスカウティングにかかわり続
- ・スカウトたちの笑顔が見られ、スカウトたちから元気をもら うこと。

②スカウト運動の魅力・素晴らしいと思われる点は?

・スカウト活動を通して、健康・知識を学び、子ども同士の絆 が強まること。国際的であること。

❸これまで経験されてきたスカウト活動で、一番 楽しかった・嬉しかったことは?

・わが子の将来・仕事を決めるきっかけとなったこと。調理師 を目指し海外留学(イタリア)したいと思った最初のきっかけ は、スカウト活動での飯盒炊飯だった。そして、世界ジャンボ リーに参加し世界観を持ったこと。

△お子さんがスカウト活動を続けている理由は 何だと思いますか?

・成長と共にスカウト活動に参加出来る時間が減ってはきま したが、スカウト活動が楽しいからでは。 また、日本ジャンボリー・世界ジャンボリーへの参加などで、 他の団・県・国の友達が出来たからでしょうか。

⑤お父様がスカウト活動を続けている理由は 何だと思いますか?

・楽しいからでしょうか。スカウトたちの成長が楽しみなので

⑥三世代で一緒に活動することの良い点・困る点は?

- ・良い点:スカウティングという共通の話題があること。子ど もたちは、祖父を祖父として、そしてスカウトとしても尊敬し ている。(スカウティングは、家族の協力があってこそ活動を 続けられると思う。子どもだけでなく、家族全員がスカウ ティングを行っている事が素晴らしいことだと思う。)
- ・困る点:現在は無い





【スカウト・ファミリーアンケート 第3世代]

高橋 直己様

登録開始年度 2006年(平成18年) 現在 藤枝第1団 ローバースカウト

●スカウティングで、一番楽しい活動・好きな活動は何ですか?

- ・カブ、ボーイ、ベンチャー、ローバーと、とても楽しく活動して きた。
- ・キャンプ(特に、炊事)、日本・世界ジャンボリー(世界ジャン ボリーでの奉仕などで県外や外国のスカウトと交流が出 来、多くの友人が出来た。)
- ・国際交流(台湾のスカウトが我が家に3回ホームスティし、 私も台湾スカウトの家に2回ホームスティした。今も交流が 続いている。)

②きらいな活動・やりたくない活動はありますか?

特に無い

光様 高橋

登録開始年度 2011年(平成23年) 現在 藤枝第1団 ベンチャースカウト

●スカウティングで、一番楽しい活動・好きな活動は何ですか?

- ・カブ、ボーイで楽しく活動した中で、飯盒炊飯が一番楽し い。次が募金活動で、みんなのためになっているから。
- ・世界ジャンボリーに参加し、外国スカウトとあまりしゃべるこ とは出来なかったけど、いろいろな活動をして友達が出来 たこと、他の県のスカウトと友達になれたこと。
- ・台湾のスカウトが家にホームスティし、ぼくも台湾スカウト の家にホームスティして台湾の友達がおおぜい出来たこ

②きらいな活動・やりたくない活動はありますか?

- ・特にない
- ・困ること:部活で活動に参加出来ないことがある。



志太地区と台湾スカウトとの永い交流が続いています!

1959年の第10回世界ジャンボリー(フィリピン開催)で、藤枝第1団鈴木邦夫氏(当時ローバー)が台湾のスカウト・リーダーと交流したことが出発点で、個人レベルでの台湾、特に台中市スカウト・リーダーとの交流が続けられていた。2006年に、鈴木氏(志太地区委員)が台中市教育長(台中市スカウト連盟理事長)を訪問し、それまでの個人レベルでの交流から"志太地区"と"台中市スカウト連盟"との「組織」レベルでの友好交流を進めることになり、その後の活発な相互交流が現在も続けられています。

〈志太地区→台湾・台中市〉

- ●台中市童軍節慶祝大会(Scout Day 3月5日に毎年開催)への参加 2007年~2017年まで、地区役員・リーダー・スカウトが参加。 2008年からは、童軍節慶祝大会参加後のスカウトの家庭へのホームスティ・プログラムも始まる。
- 2006年からは、重単即慶祝人云参加後のスカウトの家庭へのホームスティ・プログラムも始まる。 ●台湾連盟(中華民国童軍總会)への表敬訪問
- 2007年より、童軍節慶祝大会後に台湾連盟を表敬訪問し交流。2011年には「100周年記念式典(台北)」に参列、2012年には「100周年記念全国ジャンボリー(高雄)」にも参加する。
- ●2009年、長青会(県連スカウトクラブ)訪問団が、台中市政府・台中市連盟と台湾連盟を訪問。

〈台中市→静岡・志太地区〉

- ◎2009年 静岡県キャンポリーに参加(派遣団:団長/台中市教育長・役員・スカウト50名)。 キャンポリー前後に、地区内スカウトの家庭へホームスティする。
- ◎2010年 第15回日本ジャンボリー(朝霧高原)を訪問(役員20名)
- ◎2011年 訪問団(役員20名)が来静し、交流。
- ◎2013年 第16回日本ジャンボリーに参加したリーダー・スカウト(40名)が来静し、スカウトの家庭へホームスティする。
- ◎2015年 第23回世界ジャンボリー(山口・きらら浜)の前後に、参加役員・スカウトが来静し、スカウト の家庭でホームスティ。

こうした活発な国際交流が台湾連盟・台中市連盟からも高く評価され、数々の表彰を受けています。

●2010年 台湾連盟「國際友誼章」鈴木地区協議会長 *台湾との友好交流に貢献した外国スカウトに授

与される

●2011年 台中市「栄誉市民奨章」

鈴木地区協議会長

*永年に亘り台中市に多大な貢献をした者に授与(名誉市民)

●2015年 台中市連盟「優秀童軍章」

川村地区委員長他 地区役員・指導者5名 *優秀スカウト・指導者・役員に授与(年20名程度)

●2017年 台湾連盟「國際友誼章」

川村地区委員長·

田中地区国際副委員長











たこあげ楽しかった

富士地区 富士第4団 ビーバー隊 安藤 綜一

ビーバーで、たこをつくりました。たこには、ねつ気きゅ うと岳南電車の絵をかきました。

広場には、風がありませんでした。走ってあげようと思 い、しばらく後も見ずに走りました。立ち止まってから後ろ を見ると、すぐにおちてしまいました。長く糸をのばしすぎ たので、ひっぱるのに時間がかかりました。

まこうと思ってまきはじめると、からまっていました。ほど いていたら、風がやんでしまいました。もう一回やったら、 同じでした。

もう一回やっても、また同じ。それを何どもやっている 間に、おわりの時間になってしまいました。こんどこそ、 高くあげたいです。



たのしかったたこあげ

浜松地区 浜松第1団 ビーバー隊 石川 海央

ボーイスカウトでたこをつくったとき、たのしかったです。 すこしあげるのはかんたんだったけど、あとからすこしずつ かぜがつよくなり、すこしずつむずかしくなったけど、だん だんたのしくなりました。

二つめにたのしかったこと は、たこをしまうことです。か ぜがすこしつよかったのでむ ずかしかったです。

三つめにたのしかったの は、たこをあげながらやまの てっぺんまではしって、すご くたのしかったです。



ビーバーたいではじめてのスケート

志太地区 大井川第3団 ビーバー隊 福島 梨依

わたしはスケートがはじめてです。すごくさむいところで つるつるしたゆかでした。くつがおもたくてすべりにくかっ たけど、先生が上手にすべるコツと、ちゅういするところ をしっかり教えてくれたので、れんしゅうしてなれてきたら、 すうっとすべれるようになりました。みんなもいっしょにれん しゅうをしてお友だちがきれいにすべっていてすごいなと 思いました。おもしろかったところは、自分がすべってい たつるつるのゆかが後ろを見たらギザギザになっていたと ころです。また家ぞくでも行きたいなと思いました。







初めてのケーキ作り

御殿場地区御殿場第5団 カブ隊 村越

ボーイスカウトでは初めてケーキ を作りました。

ふだん活動しているところでは できないので市民会館の調理室 に移動しました。

2グループに分かれ、スポンジ はすでにできているものを使いま したが、生クリームは自分たちで アワ立てて作ったので苦労しまし



た。ただ、部活で来られない中学生がたまたまいて助け てくれたので、うまくいきました。前日に買っておいたフル ーツやトッピングでデコレーションしました。

となりのグループでは、リンゴをサンタクロースに加工し ていたので頭を使ったなと思いました。

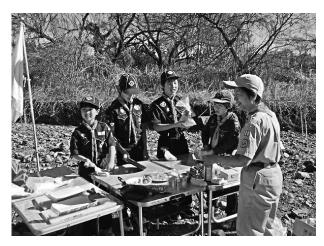
完成して食べることとなったが、つけあわせにフライドチ キンもあったので、思ったより量が多かった。あまった生ク リームをそのまま口に入れたので、隊長や手助けしてくれ ていた団委員さんに「気持ち悪くなるぞ!」と注意されま した。

ピザ作り

静岡地区 静岡第10団 カブ隊 稲村 亜弥

隊集会でピザを作りました。組集会でのせる具材を考えました。外でピザ作りなんて始めてなので楽しみでした。

きじを粉から作りました。粉から作る事なんてめったにないから、とってもワクワクしました。でも、きじが玉になったり、ドロドロすぎたりして、とても大変で、想像とは少し違いました。それから、具材をきじにのせて、きじをフライパンにのせてガスで焼きました。ここからが大変。私は、やっぱりのせてあるチーズがトローリがよかったので、とろけるように、たくさん焼きました。が・・その分うら側がまっ黒コゲになってしまいました。上のチーズトロトロの部分はおいしかったけど、うらは失敗でした。他の子は上手にできたのに私だけ失敗して残念でした。今年残念ピザだったけど、来年やるなら成功ピザにしたいです。





「出来た」から「覚えた」に

沼駿地区 沼津第4団 ボーイ隊 大橋 愛美



1月29日、桃沢少年自然 の家から水神社までのミニハ イキングをしました。 そこで、 私は色々な体験をすることが できました。

ハイキングの時のパトローリング、コンパスの使い方、たんかで運ぶ方法などを学びました。その中で、私が最も多

くの事を学んだのは、コンパスの使い方についてです。

私は今まで、コンパスのおおよその使い方しか知りませんでした。しかし、今回の体験を通じて、今まで知っていたことの再確認や、新たな知識を覚えることができました。改めて再確認したものとしては、方位角の測定など、新しく知ることのできたものとしては、測定した方位角を地図上で確認したり、地図に対象の設備の位置を書きこんだりすることが挙げられます。

私は、こんな話をされたことがあります。「『出来た』じゃだめなんだよ。『覚えた』と言えるまで繰り返し練習しなきゃね。」と。

コンパスの使い方はもちろん、パトローリングやたんかの 使い方など、繰り返し練習して、「出来た」から「覚えた」 と言えるようにしたいです。



ボーイスカウトのつながり

清水地区 清水第19団 ボーイ隊上級班長 稲垣 優斗



僕はボーイスカウト隊に所属していて上級班長として活動を行っています。また自分自身が去年は班長として活動を行っていたため班長の2人を上手くサポートできるようにしています。自分が班長であった時は上級班長はいませんでした。しかし

今は班長2人と上級班長である自分がサポートをして活動を行いやすくしていきたいと思いました。僕達は今年の8月のキャンプを行いおわるとベンチャー隊に進級します。その時に良いボーイスカウト隊の活動だったなと思えるように自分達で考え行動するようにしていきたいです。後輩であるスカウト達にも今ある知識を教えてできるようにしてもらい経験としてつないでいってもらいたいです。僕はベンチャーにいってもがんばり続けてボーイスカウトまた地域に貢けんできるような人間になります。



磐田地区 豊田 2 団カススカウト隊活動近況

磐田地区 磐田第2団 カブ隊 隊長 実川

昨年は、カブ隊は1名で活動を進めた。

くま年代であり、翌年からはボーイ隊へ上進するので 準備も兼ねた活動とした。

シルバコンパスによる地図ハイクやナイフの安全な使い 方習熟を実施。

ナイフは、安全な持ち方やバック底に入れての携行、 そして木の削り方の練習を実施。ためし切削は、鳥の 木彫りを作成し色つけして完成させた。まだまだ削り方が むつかしそうで太った鳥となったが上手にできたように思 う。

直近では、昔懐かしいゴム動力飛行機の作成を体験 させた。作成途中で穴あけ作業があったがキリを忘れた ので、ボーイスカウト精神である・・・あるもので工夫する・・・ 実際には針金とベンチで穴開け成功。

スカウトも体得でき良い経験となったようだ。・・・

昨今の大震災で、便利なものが使えなくなる中で、あ るもので生きていく・・・そんな工夫、頭の回転ができ、 そして周りの人を引っ張っていける・・・

そのようなスカウトにボーイ隊に上進して更に育って欲し いと願っている。

心豊かにするスカウト活動 島田地区 島田第5団 保護者 鈴木 時子

ビーバーフェスティバルに参加して

クリスマス間近の12月18日、穏やかな日差しの中、ビー バーフェスティバルが開催されました。

30 数年前我子がビーバー隊に入隊し、今では孫がビー バー隊で活動しています。

今回のビーバーフェスティバルは、初めて他の団のスカ ウト達と触れ合い、空缶で作ったレールを、一生懸命交 互に協力して運んだソリ運びや、白い大きな袋の中で何 やらモゾモゾ。「何が入っているんだろう」なかなか袋の 中を開ける事が出来ません。

もう子供達の心はワクワク・ドキドキ!最後に、皆で手を つないで作った大きな輪の中で、副長から貰った小枝章。 声にはださなかったけれど、「わあ!もらえたあー」と子供 の顔から笑みが見えていたのが忘れられません。

小さなスカウト達の為に開かれた大会も午前中で無事 終了し、沢山の時間と、労力を費やしてくれたリーダー・

団委員に感謝するとともに、これからもスカウト活動に於 いて、一つでも多くの笑顔と、心豊かにしてくれる活動に、 孫と一緒に参加出来るのが楽しみです。



指導者が多分析形一几を訪問

静岡地区 シンガポール交流タスクチーム 大場 文野(静岡第22団 ボーイ隊副長)



♀ 写真

静岡地区はカブ・ボーイのシンガポール派遣を昨年3月に実施しましたが、今年3月に指導者のシンガポール派遣を行いました。3月18日(土)~25日(土)の8日間で、静岡県連盟傘下の他地区の指導者も交えた9名が参加しました。

現地での主なプログラムは、

- シンガポール連盟のサリンバン・スカウトキャンプ場に宿泊し、場内の施設・サイト・備品などを視察。
- ●離島のウビン島に渡り、島内のキャンプ施設・自然をサイクリングしながら見学。
- 海外にある唯一の日本人スカウト団「シンガポール 1 団」の団委員長・隊指導者とお会いし、スカウト活動について歓談。(写真1)
- シンガポール連盟のタン・チーフコミッショナーや副コミッショナーなど8名のコミッショナーグループの方々と歓談し、意見交換。(写真2)
- ●学校のクラブ活動の一つとしてスカウト活動が行われており、小学校(カブ隊)1校・中学校(ボーイ隊)2校を訪問して、スカウト活動の様子を見学。(写真3)
- 最終日24日(金)の夜、北部地区15隊250名が集まるキャンプファイヤーに招かれ、元気な歌やダンス・スタンツなどが繰り広げられた。私たちも、盆踊りを披露。(写真4・5)

たくさんのスカウト・指導者との楽しい出会い・愉快な想い出をお土産に、静岡に帰ってきました。 今年の12月には、60名のシンガポール・スカウトが静岡を訪問し、スカウト達と交流する予定です。そ して、来年3月には静岡地区カブ・ボーイの第2回シンガポール派遣が計画されており、静岡~シンガポールの国際交流の輪は、どんどん大きく拡がっています。

(派遣の詳しい内容は、Facebook「ボーイスカウト静岡地区シンガポール派遣」でご覧下さい。)









○写真1 **○**写真4 **○**写真5





おめでとう!! 12 名の仲間が 友情章を授与されました。

「友情章」は、君の友達に「スカウトになろうよ!」と言って、 友達がスカウトに入るともらえる章です。

記念品はネームプレートがもらえるよ。次は君が友達を紹介して「友情章」をゲットしよう!

平成 29 年3月度「友情章」顕彰者名簿

組織拡充委員会

		2017 A A 103	組織拡允安貝会
氏 名	地区	所	属
鈴 木 俊 也	志太	大井川第3団	B S 隊
鈴木ひなの	志 太	大井川第3団	C S 隊
鈴 木 仁	島田	御前崎第1団	C S隊
浅 野 遥 斗	三 島	大仁第1団	C S 隊
土屋 涼音	三 島	大仁第1団	C S 隊
浅 利 煌 大	三 島	大仁第1団	C S 隊
川端凛太郎	浜 松 東	浜松第30団	C S 隊
工藤 智輝	沼 駿	沼津第1団	C S 隊
池田琥太郎	沼 駿	沼津第19団	C S 隊
清 水 大 地	沼 駿	沼津第19団	B S 隊
HELEN PARMENTER	沼 駿	沼津第19団	B S 隊
森 祐樹	沼 駿	沼津第19団	C S 隊



「第2回静岡県連スカウトフォーラム」と 「海外派遣・国際交流スカウト報告会」が 開催されました。

3月19日(日)静岡県青少年会館において、プログラム委員会主催の会議がそれぞれ開催されました。

午前の部「スカウトフォーラム」には、スカウト16名・指導者16名が参加。全国VSフォーラム(12月実施)に県連代表として参加した駒走聡俊君(三島第3団)が発表内容を報告し、2017年度のVSの取組についての討議などが行われました。









午後の部「海外派遣・国際交流報告会」は、スカウト15名・指導者14名が出席。アゼルバイジャン(伊東第5団 関川紀世龍君)・シンガポール(静岡第27団 西澤寛太郎君)・台湾(志太地区 酒井達陽さん)との交流報告の後、国際交流についてのパネルディスカッションで活発な意見交換が行われました。





「障がい児スカウティング研究集会」を開催しました!

時:2月12日(日)・会場:静岡県青少年会館 · 🖯

県連プログラム委員会の主催で、櫻井康博氏(東京都連盟・第12回日本ア グーナリー実行委員・埼玉大学教授)を講師にお招きし、「障がい児スカウトの 受入について |のテーマで研究集会を開催しました。

28名が参加し、"発達障がいのある青少年を支援する指導者のガイドブック" http://www.scout.or.jp/_userdata/monnbukagakusyou/genkisupGBfull.pdf を使っての講義・12NAのDVD観賞・参加者のグループ討議などが 行われ「発達障がい児」についての理解を深めることが出来ました。









スカウト運動を財政面からご支援頂いている皆様です。(平成29年3月末現在)

地区名		おそ	的		役職名
伊 東	森	⊞	文	明	地区委員長
伊 東	渡	辺	吉	郎	地区コミッショナー
伊 東	鈴	木喜	喜 代	志	団担当コミッショナー
三 島	±	Ш	惟	之	理事
三 島	小	林		透	県連盟コミッショナー
沼 駿	⊞	村	照	児	地区委員長
御殿場·小山	藤	ш	敏	春	地区委員長
富士	戸	⊞	正	明	理事
富士	花	畑	金	亨	副理事長
清 水	前	澤		侑	理事長
清 水	畠	Ш	幸	喜	地区委員長
清 水	脇	坂		茂	理事·事務局長
清水	脇	坂	英	子	理事

地	区名	3		おそ	占前		役職名
清		水	橋	本	智	弘	地区コミッショナー
静		岡	松	⊞		茂	理事
志		太	村	松	武	博	副理事長
掛川	・袋	差井	牧	野	勲	夫	地区委員長
磐		⊞	鈴	木		均	地区委員長
浜		松	仲	⊞		始	副理事長
浜		松	西	村	清	矢	理事
浜	松	東	松	永	伸	弥	理事
浜	松	東	大	澤		and and a	県連盟副コミッショナー
浜	松	東	佐	藤		誠	地区委員長

【法人会員】

はごろもフーズ株式会社

マスコミ(新聞・雑誌)に掲載された"スカウト活動の記事"を紹介します。

祉事業団の「愛の都市 訪問」に4万1606 新聞·静岡放送文化福 委員長)は4日、静岡 浜松第15団(佐藤誠団 街頭募金の浄財 4万円余を寄託 日本BS浜松第15団 日本ボーイスカウト





円を寄託した。 の遠鉄百貨店前や遠州 へが同日、 浜松市中区

中区旭町の静岡新聞社 末恒例の街頭募金を行 鉄道新浜松駅周辺で年 寄せられた浄財を



として開催した。8月 開かれた講習会で知り つきを開いた。 両団の指導員が以前

は同所で一緒にキャン | たちが静岡へ行く予定 合い、初めて合同事業 | 舌鼓を打った。 来年度は大仁の団員

動センターで合同の餅 市の静岡26団(杉本忠 | ち米約40歳を用意し、 豆の国市下畑の野外活 重団員長)は18日、伊 山惟之団員長)と静岡 スカウト大仁1団(土 伊豆の国市のボーイ 用意。雑煮仕立てにし、 きな粉などをつけて食 った。もちはあんこや 代わる代わるきねを振 身で火をたき、豚汁を べたほか、団員たち自 は11人が参加した。も に、大仁は20人、静岡 小学生の団員を中心

同

BS大仁1団と静岡26団

◆静岡新聞 平成28年12月5日 朝刊に掲載

河区)=写真=は23日、 静岡第27団(静岡市駿 静岡新聞・静岡放送文

5万余を寄託 日本ボーイスカウト BS静岡第7団

募金の浄財寄託 日本ボーイスカウト BS静岡第10団



3572円を寄託し 活動で寄せられた5万 都市訪問」に街頭募金 化福祉事業団の「愛の



寄せられた 浄財1万 9025円を寄託し 市訪問」に街頭募金で 新聞•静岡放送文化 =写真=は23日、静岡 静岡第10団(静岡市葵 福祉事業団の「愛の都 区、北村誠団委員長

●伊豆日日新聞 平成28年12月21日冰 掲載

♦静岡新聞 平成28年12月24日生 朝刊に掲載

60 新年集会、親睦 も深める

いた。最年少のビー 保育園で新年集会を開 伊豆の国市のボーイ から上のローバーま 同市白山堂の慈恩

りによるゲームを楽し には成人スカウトのお 食べて交流を深めた。 祝いが贈られた。 スカウトフェアや7月 同隊は今年、 セレモニー後は縦割



を述べた。 今年の誓い が崚央君が えるのか、 井大智君と 何を備える さつ。ビー みんなで考 のかを常に 常に」を挙 | 「備えよ えていこ 己 とあい トのモット ーイスカウ 一隊の石

どを予定している。 ク、8月のキャンプな

命伊豆日日新聞 平成29年1月10日火 掲載

| 図南| ボーイスカウト創始者しのぶ

ボーイスカウト三島地区は19日、ボーイスカ ウト運動の創始者ベーデンパウエル卿(1857~ 1941年)の誕生を祝い、遺徳をしのぶ「BP祭」



を函南町西部コミュニティセンターで開いた。

三島と函南、伊豆の国の3市町7団の園児か ら高校生までのスカウトと、指導者ら約250人 が参加した。ボーイスカウト活動を世界に広め た故人に献灯や献花で思いをはせた。参加者は ゲームで互いの友好も深めた。

参加者を代表して、遠藤有彩さん(14) =函南 2団、写真手前=が「常に新しいことへの関心を 高め挑戦していきたい」と誓いの言葉を述べた。

静岡 三保松原保全条例2年で植樹

静岡市は19日、富士山の日(23日)を前に、 世界遺産の構成資産・三保松原(同市清水区)の 保全活用条例施行2周年を記念した啓発活動を



同区で行った。清水三 保海浜公園で松約300 本を植樹したほか=写 真二、県市連携の勉強 会も開いた。

同公園の植樹には、 地元住民やボーイスカ ウトなど14団体約200 人が参加。勉強会では、 東京農業大の桃井尊央 助教(木材工学)が「年 輪から三保松原の歴史

を知る」と題し講演。2015年に亀裂が見つかり 伐採された御穂神社参道「神の道」の老齢松「龍 の松」の年輪を分析し、松の樹齢を約260年と 推定したと紹介した。

●静岡新聞 平成29年2月20日 朝刊に掲載

おしらせコーナー

各研修及び定時総会のご案内

ウッドバッジ研修所 課程別研修(1日型) 静岡第1回

●月 日: 平成29年5月21日(日)

●場 所:静岡県青少年会館(静岡市)

●申込み: 4月29日(日) まで

平成 29 年度

組織拡充大会、定時総会・表彰式、交歓会

●日 時:平成29年6月4日(日)

10時30分 組織拡充大会

11時30分 表彰・総会受付開始

12時30分 表彰式

13時45分 定時総会

17時00分 交歓会

●会 場: 静岡市東部勤労者福祉センター (清水テルサ)

静岡市清水区島崎町223

*地区・団の代表者1名は、必ずご出席をお願いします。

ポーイスカウトへのお問い合せ・入隊希望は

ボーイスカウト静岡県連盟事務局(**a** 054-255-6185) まで ホームページもご覧ください。http://bs-shizuoka.com

編集出記

平成29年度から、ボーイ・ベンチャー部門の進級課程が改定されます。改定に沿った新しい取り組みが各団で展開されると思いますので、ユニークで楽しい活動報告をどしどしご投稿下さい。

「たちばな」チーム一同

広 報 "たちばな" 2017年4月

発 行 所 一般社団法人 日本ボーイスカウト静岡県連盟

〒420-0068 静岡県静岡市葵区田町 1-70-1

県青少年会館内

TEL054 - 255 - 6185 FAX054 - 255 - 6186

http://bs-shizuoka.com

編集責任者 広報委員長 松 田 茂

印 刷 三富印刷株式会社

静岡県浜松市東区上新屋町 30-1 TEL053 - 467 - 4678

発 行 部 数 5,140 部